

後期高齢者医療制度の保険料率を変更します

加入者全員が支払う均等割額のほか、所得割率なども引き上げ

2年ごとに行われる保険料見直しに伴い、75歳以上の方が支払う後期高齢者医療制度の保険料率を変更します。今回の変更では、加入者が等しく支払う「均等割」や、

所得に応じて支払う「所得割」、75歳以上の方には、6月下旬ごろに保険料の通知を送付しますのでご確認ください。【詳細】保険年金課☎(211)2944

4月から75歳以上の方の保険料率が変わります

保険料は均等割と所得割に基づき計算され、賦課限度額以上になることはありません。

	平成22・23年度	平成24・25年度
均等割 加入者が等しく負担する額	年額 44,192円	年額 47,709円
所得割 加入者の所得に応じた額	(前年所得*ー33万) ×10.28%	(前年所得*ー33万) × 10.61%
賦課限度額 1年間の保険料の上限額	50万円	55万円

1年間の保険料

= 均等割 **47,709円** + 所得割 (平成23年中の所得*ー33万) × **10.61%**

※年金や給与などの収入から必要経費を引いた額

保険料の軽減があります

世帯の所得が少ない場合、所得に応じて、均等割、所得割ともに上記の額より割り引かれ、負担が軽くなります。

■モデルケース

単身世帯(世帯主)で年金収入のみの場合



年金収入	均等割軽減	所得割軽減	平成24年度保険料	前年度比
80万円	9割引	なし	4,700円	300円増
153万円	8.5割引	なし	7,100円	500円増
168万円	8.5割引	5割引	15,100円	800円増
180万円	2割引	5割引	52,400円	3,200円増
211万円	なし	5割引	78,400円	4,400円増
250万円	なし	なし	150,600円	6,700円増

札幌版次世代住宅とは

断熱材をふんだんに用いた、市の基準を満たす高断熱の住宅です。建築主の申請により市が評価し、右表の等級を認定。認定住宅にはメタル製の性能表示ラベルを進呈します。



新築住宅の等級	1軒当たりの補助額
トップランナー	200万円
ハイレベル	50万円
スタンダード	
ベーシック	
ミニマム	—

室内の空気を逃さず省エネで快適!

少しの暖房で家全体が暖まる!



冬の浴室も温度差が少ない

トップランナーの場合、灯油代は通常住宅に比べ年間約17万円もお得!

■灯油使用量と費用(年間)

住宅の等級	灯油使用量	費用
通常住宅	2,000L	184,000円
トップランナー	180L	16,560円
ベーシック	950L	87,400円

※灯油使用量は特定条件での参考値
※灯油価格は92円/Lで計算

申込方法

4/18(水)から市役所7階住宅課、区役所、ホームページで配布する申請書を5/14(月)~25(金)に持参。抽選。申請額が予算額に満たない場合は、9/28(金)まで随時受け付けます。

高断熱で環境に優しい「札幌版次世代住宅」の建築費を補助

市の基準を満たす新築住宅に最大200万を補助します

市では高断熱・高気密の住宅を「札幌版次世代住宅」として認定し、新築戸建住宅には建築費の一部を補助します。補助額は、市が定めた基準により決定。50万円か、200万円の補助を行います。札幌は、冷暖房に全国平均の約3倍のエネルギーを消費。【詳細】住宅課☎(211)2807